

三 日 夕 刊

●川上東拓理事 東拓事業部長理事川上常郎氏は近く湖南兩方面に於ける事業狀態觀察のため出張すべしと

●針貝氏東拓入社 總督府幹事を辭したる針貝金三郎氏は既報の如く東拓参事として入社し、殖産課勤務せられり

英領印度の軍費南金

て四十五萬袋を製粉す可く其の販
京畿道警務部長は三日午後
五小警列車にて歸任せり

念品 大邱へ榮轉せる葛城署長に在
任四年の長きに亙りたる事とて

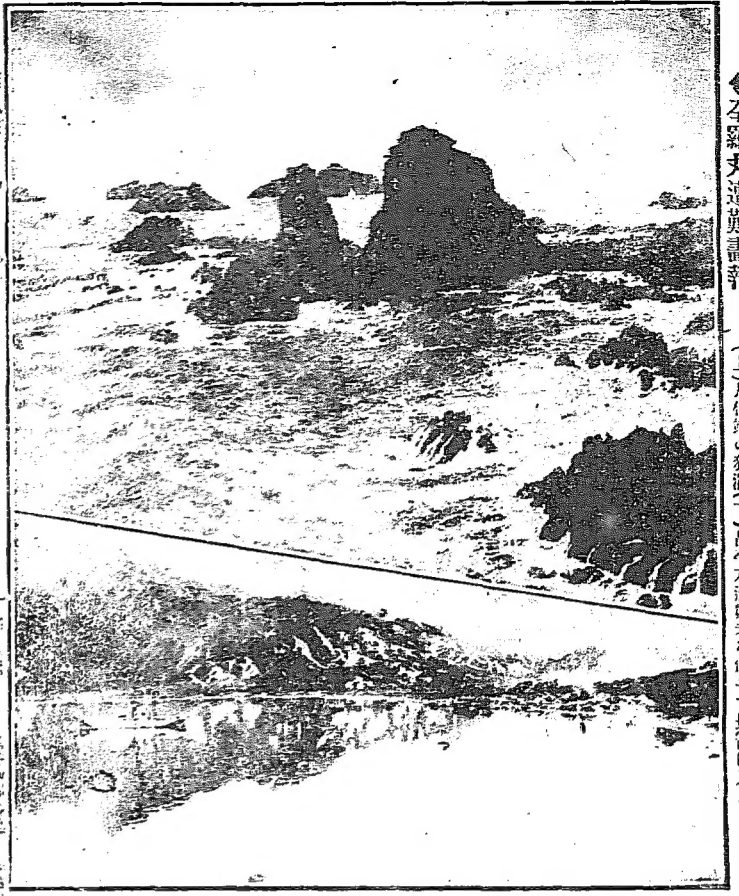
四千五百五十三圓歲入經常部一金度
千二百〇五圓歲入臨時部計金一萬入

出豫算 大正六年度釜山府歲
算額は總額十九萬八千零八十八
氏發起

臨山縣の阪出某氏外諸
目下は熱地を選定中な
を知らんやだ

◆全羅丸遭難請報

(上月位離の狂瀾下) 全羅丸遭難者を救つて長崎に入る



乗客百数十名の命を救つた二筋の綱

全羅丸の遭難者惨状

全羅丸遭難の原因は未だ未だに不明であるが、當時江原道沿岸は悪天候に襲はれて、大吹雪となつて、船の航行は極めて困難であつた。船は、大吹雪に襲はれて、船の航行は極めて困難であつた。船は、大吹雪に襲はれて、船の航行は極めて困難であつた。

其度毎に海水が船室に浸入

船室に海水が浸入するたびに、乗客たちは大騒ぎを起し、船の航行はますます困難を來した。乗客たちは大騒ぎを起し、船の航行はますます困難を來した。乗客たちは大騒ぎを起し、船の航行はますます困難を來した。

自由戀愛でない強迫戀愛

神近市子に對する檢察官の論告。自由戀愛でない強迫戀愛。神近市子に對する檢察官の論告。自由戀愛でない強迫戀愛。神近市子に對する檢察官の論告。

難壇に白酒まで備へて

京城仁川の女學校の難祭

京城高等女學校は、二月三日の兩日、仁川に於て難祭を行つた。難祭は、仁川に於て難祭を行つた。難祭は、仁川に於て難祭を行つた。

憲兵の德慕

憲兵の德慕。憲兵の德慕。憲兵の德慕。憲兵の德慕。憲兵の德慕。

京城三券番の線香値上げ

三日に總代打揃つて警察へ出頭。京城三券番の線香値上げ。三日に總代打揃つて警察へ出頭。

町内の自慢

本町四丁目。町内の自慢。本町四丁目。町内の自慢。本町四丁目。

天下泰平の團扇

に因んだ町紋章。天下泰平の團扇。に因んだ町紋章。天下泰平の團扇。

讀者文藝

讀者文藝。讀者文藝。讀者文藝。讀者文藝。讀者文藝。

東京古屋善平

ユニオン香水。東京古屋善平。ユニオン香水。東京古屋善平。

株式第一銀行京城支店

支店。株式第一銀行京城支店。支店。株式第一銀行京城支店。

鮮六法全書

鮮六法全書。鮮六法全書。鮮六法全書。鮮六法全書。鮮六法全書。

文藝俱樂部

文藝俱樂部。文藝俱樂部。文藝俱樂部。文藝俱樂部。文藝俱樂部。

種苗案内

種苗案内。種苗案内。種苗案内。種苗案内。種苗案内。

困つた傳道婦

困つた傳道婦。困つた傳道婦。困つた傳道婦。困つた傳道婦。困つた傳道婦。

明君道中記

第七十五席

大泉殿右衛門は御用を済ませて我家へ立歸つて参りました。櫓に鐵砲が出銃の助に響つて書内が何やら申し居る故に、父「喜内何うした、又新の助が意氣だしたなしたか」喜「へん、實は若様が駄馬様のお申付けに背いて鐵砲をお射なさいましたのでございませう」父「何に彼の彈丸込のいたしてある鐵砲持出して射つたか」新「庭の樹木に小鳥が来て止りましたが遂射したくなりまして鐵砲を持

父「然て何ういふ事だ」喜「御佛家の御老母様が久しく御病氣でございましてが、昨今快方に趣いて先刻餘

床てはかり居て氣がくるからと雪笠を掛けて御覽なさうらと雪笠の隙をけて欄干に凭れ風に吹かれ乍ら雪を御覽になつてお在な

と、此方の圍み内から鐵砲の彈丸飛んで参りまして御老母様の眉間中り即死をなさいましたさうで

父「何に、御老母が鐵砲に中つた」喜



出してゐ入りました「父」彌次郎が
 である故間違ひでもあつてはならん
 斯く思へばこそ手を離れるなど申し
 たに、それを持出して射つては怪し
 からん奴、然し小言を申した處で射
 つてしまつたものはいない方がない
 以來は心附いたさぬやう」と云つて
 居る處へ隣家の川上主膳此人は家老
 殿をつとめて居るその許より使が参
 りました「父」コレ喜内御隣家から使
 が参つたに申すが何の用事か其方聞
 いて参れ「喜」此うました」と喜内
 は玄關へ出て参りましたが荷あつて
 喜「申し上げて参りましたが荷あつて
 ます「父」何じや一大事は、如何い
 ました、先方の口上を申せ「喜」使の
 者は手前とは極く悪意でございます
 から許しいことを承はりました、

若様が小鳥を射うと放した卵、凡が
 れて御差押に中つたのでございま
 す「父」それは大變なことをいたし
 た「喜」其故に御隣家より御監合で
 速新右衛門に罷出ろといふ御使で
 ございます「聞いて新右衛門大きに

院長 醫學士 森定吉
 小兒科
 京坂本町三丁目 芙蓉醫院
 瓦町金福通側 電話三六三三

助の一命は申し受けるに依つて左様
心得る、掃香の爲には醫費の無き大
切なる母上その母上に殺めし親之助
依つて手討にいたし責めては母の亡
霊なりと慰めん」新石「是れも申し

本町一丁目三巷向電話一〇四七番
齒科診療野田科醫院

齒科醫士 野田應治

は新之助に申し受ける、此方へ来れば新之助の手に取つて奥の一室へ入れ参る、新右衛門は其儘にして立歸りましたが、流が親子の恩愛が不慮のものよと男泣くに就いて居ります。此方は川上主膳一室の内止まぬ位なる御殿を庭から引出し蔭の上に拵たる主膳方の手を取つ後方へ廻り主母の敵手討にいたす故に覺悟いたせ^訓大切なる御老母様を思ひとは申せ計殺しました私御手討は確々の覺悟、イザ御存分に遊ばせ^訓と紅葉の閑かな雨音を合せて眼を

京都清水堀より西へ品川橋邊迄坂下

花柳病 須古醫院
皮膚病 電話二〇二二

附書を差廻して居ります。例にて見て居る、家來の者共にも認ないものよと涙を浮べ差附向いて居る、川ト主膳は板太刀に手を掛けさせ、ユイと振冠つたが、切下す剣の下こそ他獄なり、實に新之助の一命は風前の燈火でございませう。

三月五日 九星

君二月十二日 丙午
本台四線開取先勝

四四、はづみちの通る日新街と新市街
北方は青森県▲五▲板橋より新市街
日新街と新市街の間に在るは▲六▲増

を里浦作が勝、時元一、豊と卓たせ外

ふし多き日事手事日然れは吉女難脱治を防る
くし七也、平達日なれど、御事控目下
年能くも赤なし八口、問のむじ下
日新事手控事、言婦人となつておむ九
予部の日、朝飯屋身入は求金会談室に
六給ちある吉女一日、謝法の日、朝飯屋行出
有金条件、事務取説を受、銀吉女二、
けりかし候、御事日、御事日、御事日、
は始なり三、大願成就の日、朝飯屋身入、
内近船組大なる、御事日、御事日、
りん病 急性慢性性性を問はす博士
一医を相用、れば全治速なり七日で
一に倒置せ方直接本館に御礼本業は
京坊黄金町三振折京都三樂房
山田文殊堂藥房

てんかん 困絶の方切手三
とキツケ送れる年々角いも
日宅でなす最嚴敷の氣象を角いも
名古陸市中區南小川町敎生館

嫁入前

曾品利新左聯

「旦那さん今日は。」と、忠七
が、「旦那さん御氣分が盛つて御座
いますか。今日は御殿の御色に盛つて御座
いますで。」と、イヤ別に何處も悪い事は
ないが、只、我が心配なのは娘の事じ
や。今年十八になりました。来年十九さ成
れば嫁入をさせねばなりません。此
下で我しが心配云ふのは忠七、此
毛じや、産れた時から近頃までどう
なかつたに、フト、こんな事に成つ
たのだよ。」と、イヤ旦那様御心配には

びまね、お嬢様の白毛は染めたり
 黒い毛にならず、極宜染め居るに
 目ハア一忠七、うんなる髪は何
 にあり升て、**忠七**「髪が一寸狂て求
 て参ります」**忠七**は心算箱の丹半
 合、参り升て、ししが赤毛、**忠七**
 求めて参り升た。**忠七**「アお嬢様如
 てお上け申升」**忠七**早速、まして二十分
 経たぬ程に、**忠七**又那樣如何で御
 座り、**忠七**「ア貴方、さういふ御
 座り、**忠七**で安心を致し升た、**忠七**、此業
 何云ふのじや、**忠七**「ハナイアイス
 升る」**忠七**「ハア此業、**忠七**アイス
 升るのか、**忠七**「ハナイアイスは流たッレ

毛を御覧じて
鏡に映る顔
ついに
事つた
ナヤ
スの
御座る

染めて見ても
見ても……

學理上から



ナイスが一等。

登録商標



白毛赤毛
漆毛スイナ

ナイスの五大特色

- 僅タ二十分で染る。
- 永く保ち褪ず剥ず。
- 襟枕に汚點つかず。
- 却て毛の癖を矯め。
- 用方至極簡易也。

大正十一年三月三十一日

發賣 大阪東京 丹平商會

全國到處の藥店化粧品店にあり

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials by the thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggeration, are the most efficacious remedies regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.

The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and, moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.50.

**芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし
完全なる吸収性及同化性を併有せしめたる**

ミヅワ規那鐵葡萄酒

滋養強壯料

香味色佳良滋養力偉大



(國產縮品机)

健胃補血興奮作用卓絶

規那鐵及葡萄酒は各健胃、補血、興奮、強壯等の諸効験を舉ぐるものにして、殊に此の三者を配合して、所謂規那鐵葡萄酒となし、食事に隨んで之を服用せしむれば、三者を容易に消化し、其の製法不當ならんか將又其品質不良ならん收せられ、其の効價の益用大することは既に公知の事實に屬す。雖、其の製法不當ならんか將又其品質不良ならんか、之を服用するも害に無効なるのみならず、却て不快なる結果を生ずること言を俟たざるなり。然るに本品は歐米人達著色の製品並最新の學說に就て調査研究を重ね、山梨縣原産葡萄酒製造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、故に容易に吸收する憂なく、規那鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食欲缺乏、體弱不足、慢性の衰弱、並下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患等に神效を示す。

時に、精神の困憊、並身體の疲勞を回復し、元氣漸に精力増進を欲する場合に推奨すべき絶好の家庭必需品なり。

定價一樽金壹圓七拾錢

藥庭家ワツミ



廠石ワツミ

●三花酒電話部東京
番〇五四・九四四・八六四

店商屋見丸

目丁四町橋區振本日市京東
番〇一七七京東警帳

ニキビ吹出物

治すには

にきびとり

美顔水

じやうよう
常用すれば

ニキビ吹出物等を未發に防ぎ、皮膚の荒を去り肌理を美しくし、素顔を美しくする作用あり。尙蚤、蚊、南京虫等に螫されたる時附ければイヤな痛さ痒さを止め毒を消す。

定 價		特 大 瓶
大 瓶	五 拾 圓	
中 瓶	拾 圓	
小 瓶	貳 圓	

眼科
門科
意院入

江頭眼科醫院
京城明治町東拓橋(電話二〇四四番)
日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

軍國的見地よりの缺陷
工學士 中村與資平

予は一個の建築家の立場より歐洲戰爭を觀察して得たる、極めて普通なる所感の一端を通じて見たのである。唯だ簡單に「歐洲戦争と建築」と一言で申せば甚だ縁の遠い二個の題目を殊更に結び着けたるの感があるけれども、然し現戦争が、近世科學の應用を相殺ひつゝあるが如き觀が呈せるに想對する時は、戦争に直接關係を有するものは、單り政治に、軍事上の事ばかりに止らずして、社會萬般の物象一として直接間接其影響を免れぬものであるといふことを斷言し得ると思ふのである。而して建築の如きは素々直接關係事項の尤なるもの、である云つて差支ないのである。殊に軍國的地地よりする時は益々互に關係する處の深且つ重なること成す次第である。

茲に茲に一の假定を設けて、我が京城の上空に一個の假想的飛行機が武装して出現し、盛に爆彈を市街を目撃けて投下するところなりとせよ。

吾々京城市民はかかる場合に方りて、如何なる現象が京城中に起るされんかを想像に憑ぐる事が出来るであらう乎。第一に起るのは、計種の襲撃に對して防禦力皆無なる大部分の日本家は、忽ちして破壊され、人畜の死傷甚多きに到ることである。第二には火災の頻發續發である。此場合には用意された薪に火を點じたる同一なる光景を呈するであらう。第三には其延焼である。

市を舉げて派亂湖中に投せられたる場合には、如何に防禦が努力奮闘すも、其遠慮なき効果を收めんとすることを希望するのは恐らく至難のことである。其結果は何うなるであらう乎。申すまでもない灰燼の市街である。其慘狀たる光景は、想像しただけで懨然たるを得ないのである。之は今日に於て決して架空の想像ではない。倫敦に於ては昨戰以來數千百回に亘りて此種の襲撃を受けて居るのである。獨逸ツェンペリン式飛行機の襲撃は即ちそれである。

唯だ倫敦市街の建築の用材が、多く

は不燃性耐火住のものである爲めに損害の程度が比較的になくないといふだけのことである。決して吾々が對岸の火災を視し、安閑として油断して居ることを許さない。戦争と建築との直接關係事項には、更に重大なものとがある。突戰國として強大なる歐へられるけれども、人口といふものが、最大重要條件の一であることを見ることは出来ないのである。

即ち人口の増殖であつて、人口の増殖が妨げられてある時には、戦線に擯出すべき壯丁の不足は勿論のこと後方に於ける各級の職務に大障礙を失するに至ることは火を覆るよりも明である。現に交戰國に於て、獨逸艦中は申すまでもなく、英、佛、露何れも勞働力の不足に就いて苦心して居ることは今や周知の事に屬して居る。人口の増殖を計る爲めには、國民の健康増進を計らねばならぬ。

論じて茲に到れば人間生活上に於ける必要要件たる衣食住の三要素の建築といふことに及ばねばならぬ。是が吾々建築家の立場として當然の次第であらうと思はれる。

更に戦争と建築といふ題目の下に其關係を深く探れば、枚挙に遑あらずる結果となるかも知れないが、今日予は茲にこれ等の弊害を進むるより、寧ろ冒頭に一言した通り一建築家の立場より戦争を觀察して得たる所感を述べることにする。

人間生活上に於て住宅の建築が我々の影響を與へる事は、地方生活よりも反て都會生活の場合に於てである。地方生活に於ては自然界の現象が健康上に及ぼす利益が多い爲めに、建築の如何は左程に影響はない。故に茲には主として都會に於ける建築に就いて述べざる事をとす。人口稠密の大高層軒宇を並べて比較比せる都會の生活に於ては、二六時中を其内に暮さはならぬ住宅の建築方法が、人間の健康上に至大の影響を保つて居るものである。都會生活と健康に

發表されて居る。現代の東京等に於て日本橋の如き中心區域に生活上に居る所謂活動的の東京人は、大體地方で生れて長じて或ち東京に移りたものであるが、猶ほ此等の新舊東京人の子が大部分労働階級であることである。其原因は建築のみふことが出来ぬかも知れぬけれども、建築上に衛生的の注意を十分拂つたならば、都會生活に於ける非衛生的なる缺點の幾分は除くことが出来る筈であると信ずるのである。

るに都會の建築は衛生上の注意を重視すれば衛生的であること、實の經濟的であること、同時に都會全體から見て統一のなければならぬ外であるが、古くは先づ茶屋敷のふが引かれて居る。茶屋敷の口に市街を縦横に通ずるのが此式である。近世に於てはゾーンシステムを開闢式が行はれて居る。即ちその大中心を廻りて数條の同心圓射す之を輻路の構造とし中心に於て時に大中心の廻りに小中心を圍設け又其の各區劃の間に非盤を入れるものもある。何れも其目的を市街を組織ある統一の下に集めてあつて、主要なる建物は中心に配置し、開して公園、廣場、公共施設、商業、工業、住宅等の區域を劃定し、同時に給水下水電氣、瓦斯、電話等を完備せしむるの點を要求附加に於てはワシントン大統領の任に就くや佛人ランフーを聘してワシントン府を創始する體の計畫を作つたのであつたが、今のワシントン府が既にそれで、模範的都市として最も賞賛される。ワシントンはゾーンシステム

京出で、其の諸君を定めて建案したるものなり。其當時の政治は日清戦争上の一歩を顧慮し直に之を採用するの勇氣に今日の有能に達したのである。如何にも憂へた。之に反して、進は一八七一年普魯戰軍の勝利によるや茲に初めて國內に産業革命の大波瀾に著手し官吏一致して科學的の奮闘に努力した結果都市の發展を一貫したる計畫の下に日本永遠の發展を見越して作り立て居る。一般古來都會の普通の體裁として、市中心とし、其周圍に公園、市場等を配置するのである。鐵道は大に其趣を異にして、鐵道の第一の確立と相俟て都市發展の中心規模に於て最も便利なる輻輳の地へ建設して居る。住居の如きは常に都てある爲めに必ずしもそのうになが、フランクフルト市の如き是其例であつて、同市が人口僅に三十萬に滿たざる時は二千萬の工業を投じて鐵道重鎮たる地位に建築した。同市の中心廣場を企畫し、更に三千万圓を以てメイン河を開いて水陸交通鐵道の便を遺憾なくあらしめて居る。都合の細部計置としては、現代に於ては此を以て第一と推さねばならぬ。都會鐵線の統一を保つてゐることは火災の預防及び消防上の條件を是非とも具備せねばならぬのは事實でないといふである。然るに一方經濟的の條件をも具へねばならぬ組合に於て蘇火的設備は經營の擴大を聯想するの常であるけれども、實際は疎かしくもさうではなし。現に大連に於ては、煙草並を以て、京城の本造よりも低廉なる實例がある。假して日本人の短所であるかも知れぬけれども、政府當局者に於て、一の制限を設けて之を廢行する場合には日本では、容易に行はれる習慣にある。何事も官憲の力に依ることば、考へものではあるけれども、一度之を廢家の利害より打算する時は、議院の略ある政治家は當然此所に出て、市政建設の如きは、無事の際に於て統一を行ひ、有事の日に備へるの用意

[illegible]

右に上りたりとの事、照千松石を買わたりたる
 目もを惹いたり
 ▲**寄能く賣る**
 後巻物庄に六千松石
 上りたるとの事、一面二千松石の賣ありたるに注
 目もを惹いたり
 ▲**⑨能く買ふ**
 後巻物庄に六千松石
 上りたるとの事、一面二千松石の賣ありたるに注
 目もを惹いたり

東京女子大學教授藤井乙男先生 東京女子大學教授正直先生 東京女子大學教授高田先生

車文選

殺日申
到午

▽有朋堂文庫は我出版界が産める空前の一大叢書也

▽有朋堂文庫は健全なる家庭の必備書として推さる

▽有朋堂文庫は曩に萬餘の會員を得て好評夙に藉甚

有制堂文庫は上下三千載の一流日本文學を網羅せる彬然たる大叢書にして、總冊數一百廿冊、總頁數八萬數百頁、挿畫八千餘面、眞に明治以來空前の一大出版物也。曩に既に萬餘の特約會員を得、絶大の款資程に其全部の刊行を了したり、これが結了に際し、都下の數大新聞が筆を揃へて其大成を喧傳せるの事實は、最もよく本文庫の眞價を證明して餘りありといふべし。其校訂校正の嚴正なるは、以て本版本同様の權威として典據と爲すに足るべく、其裝釘の優雅高尚なるは、以て客室の裝飾となすに足らん。若し夫れ緋讀至便の手頃なる形態に至りては、本文庫特色中の特色として、世の齊しく珍愛する所、其他挿畫の古雅なる、難語句に施したる頭註の懇切なる、凡そ此種の新書中嶄然として正に一頭地を拔く、御家庭の備本としては更也。各種學校、圖書館、在郷軍人團、青年會等の備品として、好適また之に過ぐるものあらじ。中込期日既に目睫の間に迫るなり、乞ふ即刻即決御申込の榮命を賜らん事を。

三月十日限
 今や一刻の
 損益を不許
 發行所 東京神田錦町一
 有朋堂書店
 振替東京 四六三番地
 申込所 京城本町
 大阪屋號支店

〇有朋堂文庫全二百廿冊を三分し、各四十冊一組として提供いた
 します。其書目は内容見本に精しく書いてあります。
 〇有朋堂文庫の特約購買會費は次の通りであります。
 一組四十冊 申込金 四、毎月一圓五十錢宛十九ヶ月、送料内地金十二錢内地外
 金二十錢宛二十ヶ月（毎月二冊宛二十ヶ月間配本）
 二組八十冊 申込金 二圓、毎月二圓九十錢宛十九ヶ月、送料内地金十六錢内地外
 金四十錢宛二十ヶ月（毎月四冊宛二十ヶ月間配本）
 三組百廿冊 申込金 三圓、毎月四圓二十錢宛十九ヶ月、送料内地金二十錢内地外
 金五十錢宛二十ヶ月（毎月六冊宛二十ヶ月間配本）
 〇有朋堂文庫を御申込になるには前記申込金を御送附になれば宜
 しいのです。申込金は最終の會費に充てるのであります。そして
 四十冊よりも八十冊、八十冊よりも百廿冊と、多い程格安で御徳
 であります。
 〇有朋堂文庫は前記會費の外、四十冊書架附金三十圓、百廿冊特製
 書架附九十圓（外に荷造及び送料實費中受の即賣法もあります）
 〇有朋堂文庫の申込は全國知名書店で何所でも御取扱ひ申します。

金九拾圓也

▼有朋堂文庫全一百廿冊特製書架附即座
廿ヶ月弱

▼有朋堂文庫一組四十冊は一日僅に五錢宛
繰返さず

▼有朋堂文庫はこの募集を最終として絶対

[illegible]

大阪より

から外國の保險会社の何れを見
るべし道は實に火災保險のみに限り

對支輸出紡績趨勢
支那
二十番手以上四十番手等の細絲物
支那

社の今期増収程度は郵船に比して

あり、其他、澳洲航路、三隻南米航路、二隻

● 経済生活に身をおくと

同時に西小務所から移轉した。是が爲め

齒袋の線香は二十錢上つて九十錢、いふ恩典に溶する事になつて之が
 なるといふ事は夕刊所載の通りであるが、若し此が許可せる事にて
 なると同時に新に今後九抱へと言はるゝ實に望まれるれば思ひ通りに
 半自願・自願と言はす、船賃に至る迄あるが確上げによつて生ずる
 益の分配は上記のやうに行はれる

◆この頁流丁を

であるといふのは値上げと共に支拂ひまでの立替、客の不乗船の増して来るのを見越す外に内地に於ける三割に比べて割合が安いので此の機会に改定する事は舊屋敷も承知の事

大阪の四割九州各地の

空気の乾燥と共に寒

今年は一月初日以來満足な降雨は日乃至三日に止まつて居るそのせゝに空気の乾燥は實に甚しい一方

のゆるんできた結果これが人間にばすこぢ段の乾燥を起し易く、脚

此の種の咳の聲を聞

得たつたのに比較すると正味七錢五厘といふものが浮いて来るわけである、手取り早く言ふと料理屋もよし、置屋もよし藝者も是まで稼いだ金は一文も貰へず賣れた一月になるに幾ら總錢にも困つてビイ／＼してゐたものが鬼に角百本賣れば

❖ 三圓の配當 に興かると

過して居る。然るにこの鼻腔充血は

❖ 不潔な空氣の 徴分を

敷きと成りしたへか打撲傷
 り急報に接し温泉里より人々
 し負傷者を乗せて温泉里に運
 送れる乗客は天安車庫より引返
 一同を收容して天安迄引返
 の損害甚大なりと

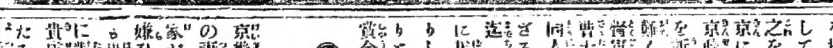
日本大阪控訴院に於て天理教事件の判決言渡しありたるが檢事の控訴棄却し松村、加納を無罪とし告小川より提起せる私訴は之を却て法廷は如例満員立錐の餘地

昨年初冬の米穀出盛期と同様に、
 榎柱が林立して荷役の曳々たる聲
 が湧き上る様に起つて來た。斗量
 及粗俵の山が築かれて、春

各部が集まつて

奉 兩省の支那官意を極ました
 取ひ利あらす馬首を廻らして西
 し林西を攻略せむとして熱河
 の官軍と奮戦遂に戦死したる蒙
 巴札布將軍の遺族は海拉爾に
 き月日を送り居たるが故將軍に
 深き那人岡本卓氏及び川島良
 思に家され突然二十八日朝著

世界列強を屈服して居るのだが、
 今後は國民對つて海軍の充實
 計つて我光榮ある歴史を汚損
 せんぞ心を掛ければならぬ
 思ふに、ヤア艦隊ランナが
 るからわれに供給へ、ヤア失
 次は旅順に大連宛て昌徳宮の
 はかきでも送つて呉れ給へ、
 君におはり



(一) ライシヨス(九)の外に親戚の男(二)名な
(二) チョンスル(三)の十一名な
(三) 南三浦連市中兒物の上旅順に
同地に住居すべしと(大連)

政府に於ても捨て置き

離婚したさに
女房の一狂言

二月二十八日

速力と大砲の戦い

ない、
珠にだ

[illegible]

行向ひ	和	募	集
京	京	京	京
城	城	城	城
青	青	青	青
年	年	年	年
會	會	會	會
61	61	61	61

社告

案內廣告料金左之通改正致候

小五行一回 金壹圓

通五行一回 金壹圓

前五行一回 金壹圓

四日 京畿道

華國公事

（姓名在社）6

吉野 二年生より七年生迄 633	山 龍山 川地植樹園 633	販賣 に經驗あるもの至急入用 此者は來職あれ 川地直三郎 632	事務員 用希望の者は履歴書携帯 黄金町三丁目朝鮮研究會 京城新聞社 626	病院 横
------------------------	-------------------------	--	---	---------

十五
五
錢
より
642

<p>日專宜格安品只今</p>	<p>市大門口外香御成町 店京我線沙里院 廣川商店</p>	<p>無保險 山 口 屋</p>	<p>下年金期即時立替 角金期即時立替 江州屋本店</p>	<p>利金銀兩替 特別長期即時替 京城永樂町一 639</p>	<p>利金銀兩替 特別長期即時替 京城永樂町一 639</p>
-----------------	---------------------------------------	------------------------------	---------------------------------------	---	---

分店

英請科	通裏城銀行向ひ	募集
はねつさうちみ	京成青年會	616
柔術道場	切の治療御旗依に應ず	616
治町	泰川閣行自動車賃金片道四圓	
廣橋自働車組	森日午前入時卅分出發	
二九番主務	金正淵	
621		

[illegible]

九十六
小林躑月作 武内桂舟畫

A black and white illustration of two women in traditional Japanese clothing. One woman is kneeling and looking down at a book or document, while the other woman stands behind her, looking on. The scene is set indoors with a window in the background.

て、義郎の眼からは、仕うしても何處かに……第一あの汝が顔の色艶が此の頃滅切とわるくなつたやうに思はれてならねむいんだからとの思ひ娘の言葉を感じないではないが老妻の眼には、矢張り返までもよく知れぬ疑念と憂鬱がしこり附着して居るらしい。

『それはね、あの阿母さん、五六日前の方方、深へ遊びに行つた時、風邪を引込んだからですよ。別にお婆さんか服もぼどでもないから、打掃つていて下さい。』

『然う言へば、それも然うかの。』老妻は、此れ以上追窮しても詮ない事と思つて、その儘を符ひだたり、長い火箸の先で再び楷火をせり始めたのである。

お訥は、腹で泣きながら顔で笑つて、

『それでね、阿母さん、妾が若しや、宿の人の都合で、遠い國へ行くやうな事があつたら、阿母さんへ可なりと能く人きりになるんで、』

『有明を文庫大盛況 東京有明會場』

[illegible][illegible]

新報

大正十一年四月二十日 星期一 第XXXX號

△地方新聞

△東京新聞

△大阪新聞

△神戶新聞

△名古屋新聞

△京都新聞

△福岡新聞

△札幌新聞

△仙台新聞

△青森新聞

△岩手新聞

△秋田新聞

△山形新聞

△福島新聞

△茨城新聞

△栃木新聞

△群馬新聞

△埼玉新聞

△千葉新聞

△東京新聞

△大阪新聞

△神戶新聞

△名古屋新聞

△京都新聞

△福岡新聞

△札幌新聞

△仙台新聞

△青森新聞

△岩手新聞

△秋田新聞

△山形新聞

△福島新聞

△茨城新聞

△栃木新聞

△群馬新聞

△埼玉新聞

△千葉新聞

◎工業

◎農業

◎商業

◎交通

◎教育

◎文化

◎政治

◎外交

◎軍事

◎法律

◎醫學

◎藝術

◎體育

◎娛樂

◎宗教

◎社會

◎環境

◎自然

◎科學

◎技術

◎發明

◎發現

◎研究

◎實驗

◎觀察

◎記錄

◎報告

◎論文

◎書籍

◎雜誌

◎報紙

◎電報

◎電話

◎電燈

◎電扇

◎電器

◎機械

◎工具

◎材料

◎燃料

◎電力

◎水電

◎交通

◎運輸

◎通信

◎郵政

◎電信

◎電報

◎電話

◎電燈

◎電扇

◎電器

◎機械

◎工具

◎材料

◎燃料

◎電力

◎水電

△地方新聞

△東京新聞

△大阪新聞

△神戶新聞

△名古屋新聞

△京都新聞

△福岡新聞

△札幌新聞

△仙台新聞

△青森新聞

△岩手新聞

△秋田新聞

△山形新聞

△福島新聞

△茨城新聞

△栃木新聞

△群馬新聞

△埼玉新聞

△千葉新聞

△東京新聞

△大阪新聞

△神戶新聞

△名古屋新聞

△京都新聞

△福岡新聞

△札幌新聞

△仙台新聞

△青森新聞

△岩手新聞

△秋田新聞

△山形新聞

△福島新聞

△茨城新聞

△栃木新聞

△群馬新聞

△埼玉新聞

△千葉新聞

大正十一年四月二十日 星期一 第XXXX號

本報發行所 東京市丸の内區有樂町一丁目

電話 〇〇〇〇

代售處 各埠各大書店均有代售

解脫後に
 於ける政
 界の燈明
 臺と國民
 の羅針盤
 を推奨す

發行者
 東京市京橋區日吉町
 振替口座一三三〇〇 民友社

賣捌所
 京城本町
 大阪屋號
 一丁目日松堂
 京城日報社代理部
 京城本町日松書房
 各他支店

定價貳圓
 郵費金十二錢

[illegible]

政治文明國民對盤矢す

嗚呼解脫に達せしめんと欲する當局の前途に對する朝野政論の激戦如何日本國民の覺悟如何時勢に順應せんとする進路如何なる方針に基いて立脚の地を自ら定むる乎我が國民付如何なる自覺を以て如何なる人物を選擧せんとする乎此の兩者に指導を與ふ可きもの、本書以外之れ無し。本書は大正政局の過去を知るのみならず、進路を知り、併せて未來の進路を指導す。長に列下必讀の書也。

發行所 東京市京橋區日吉町
振替口座一三二〇〇 民友社

京城日報社代理部
丁卯日韓書房各地支店

京城太平通一丁目
板橋區城三番
丁卯日松堂
丁卯日韓書房各地支店

定價貳圓
郵費金十二錢

工部請自公告

此入札保證金各自主上
入札者一京坂府内ニ於テ國稅地方
以上府稅者ニ限リ合費年額五圓以上
ニ從事スル者ニ限リ
大正六年三月廿二日
京坂府
新荷著



大正六年三月廿二日
京坂府

計時中懷

時	分	秒
1	10	10
2	20	20
3	30	30
4	40	40
5	50	50
6	00	00
7	10	10
8	20	20
9	30	30
10	40	40
11	50	50
12	00	00
13	10	10
14	20	20
15	30	30
16	40	40
17	50	50
18	00	00
19	10	10
20	20	20
21	30	30
22	40	40
23	50	50
24	00	00

日本郵船出帆

大連行 三月十一日 正午出帆
大連行 三月十三日 正午出帆
大連行 三月十五日 正午出帆
大連行 三月十七日 正午出帆
大連行 三月十九日 正午出帆
大連行 三月廿一日 正午出帆
大連行 三月廿三日 正午出帆
大連行 三月廿五日 正午出帆
大連行 三月廿七日 正午出帆
大連行 三月廿九日 正午出帆
大連行 三月卅一日 正午出帆

尼崎汽船出帆

大連行 三月十一日 正午出帆
大連行 三月十三日 正午出帆
大連行 三月十五日 正午出帆
大連行 三月十七日 正午出帆
大連行 三月十九日 正午出帆
大連行 三月廿一日 正午出帆
大連行 三月廿三日 正午出帆
大連行 三月廿五日 正午出帆
大連行 三月廿七日 正午出帆
大連行 三月廿九日 正午出帆
大連行 三月卅一日 正午出帆

金泉鐵道自動車支那

大連行 三月十一日 正午出帆
大連行 三月十三日 正午出帆
大連行 三月十五日 正午出帆
大連行 三月十七日 正午出帆
大連行 三月十九日 正午出帆
大連行 三月廿一日 正午出帆
大連行 三月廿三日 正午出帆
大連行 三月廿五日 正午出帆
大連行 三月廿七日 正午出帆
大連行 三月廿九日 正午出帆
大連行 三月卅一日 正午出帆

汽船釜山出帆廣告

大連行 三月十一日 正午出帆
大連行 三月十三日 正午出帆
大連行 三月十五日 正午出帆
大連行 三月十七日 正午出帆
大連行 三月十九日 正午出帆
大連行 三月廿一日 正午出帆
大連行 三月廿三日 正午出帆
大連行 三月廿五日 正午出帆
大連行 三月廿七日 正午出帆
大連行 三月廿九日 正午出帆
大連行 三月卅一日 正午出帆

大阪商船出帆

大連行 三月十一日 正午出帆
大連行 三月十三日 正午出帆
大連行 三月十五日 正午出帆
大連行 三月十七日 正午出帆
大連行 三月十九日 正午出帆
大連行 三月廿一日 正午出帆
大連行 三月廿三日 正午出帆
大連行 三月廿五日 正午出帆
大連行 三月廿七日 正午出帆
大連行 三月廿九日 正午出帆
大連行 三月卅一日 正午出帆

共同汽船出帆

大連行 三月十一日 正午出帆
大連行 三月十三日 正午出帆
大連行 三月十五日 正午出帆
大連行 三月十七日 正午出帆
大連行 三月十九日 正午出帆
大連行 三月廿一日 正午出帆
大連行 三月廿三日 正午出帆
大連行 三月廿五日 正午出帆
大連行 三月廿七日 正午出帆
大連行 三月廿九日 正午出帆
大連行 三月卅一日 正午出帆

朝鮮郵船出帆

大連行 三月十一日 正午出帆
大連行 三月十三日 正午出帆
大連行 三月十五日 正午出帆
大連行 三月十七日 正午出帆
大連行 三月十九日 正午出帆
大連行 三月廿一日 正午出帆
大連行 三月廿三日 正午出帆
大連行 三月廿五日 正午出帆
大連行 三月廿七日 正午出帆
大連行 三月廿九日 正午出帆
大連行 三月卅一日 正午出帆

汽船釜山出帆廣告

大連行 三月十一日 正午出帆
大連行 三月十三日 正午出帆
大連行 三月十五日 正午出帆
大連行 三月十七日 正午出帆
大連行 三月十九日 正午出帆
大連行 三月廿一日 正午出帆
大連行 三月廿三日 正午出帆
大連行 三月廿五日 正午出帆
大連行 三月廿七日 正午出帆
大連行 三月廿九日 正午出帆
大連行 三月卅一日 正午出帆